

# Yavalax

A game for two players  
inspired by both Yavalath and Connect6  
by Ken Shoda

## 用具

- 13x13 マスの正方形のゲームボード
- 白い石と青い石、各 85 個

## 目的

自分の色の石が直線状にちょうど 4 個並んだ列（4 連）を同時に 2 列以上作ること。

重要：同色の石が直線状にちょうど N 個並んだ列を N 連と呼び、このゲームでは直交（縦横）と斜交（斜め）の両方を考慮します。

## 準備

各プレイヤーは自分の色の石（白か青）を決めます。ゲームボードには何も無い状態から始めます。

## 遊び方

白プレイヤーが先手になり、白い石を 1 個、任意のマスに置きます。これ以降は、交互に手番を行います。手番には自分の石を 2 個、順番に 1 個ずつ空いているマスに置きます。

プレイヤーは自分の色で 4 連を 1 列だけ作ることはできません。ただし、同時に 4 連を 2 列以上作れるのであれば、そのように置くことで勝利します。

つまり、たとえ手番の 2 個目の石の配置で 2 列目の 4 連ができるとしても、手番の 1 個目の石の配置で 4 連を 1 列だけ作ってはいけません。

また、5 連以上は決して作ってはいけません。

## ゲーム終了

同時に 4 連を 2 列以上作ったプレイヤーが、ただちに勝利してゲームは終了します。これはその手番での 1 個目の石でも 2 個目の石でも構いません。

稀な場合として、石が置けないならば引き分けです。

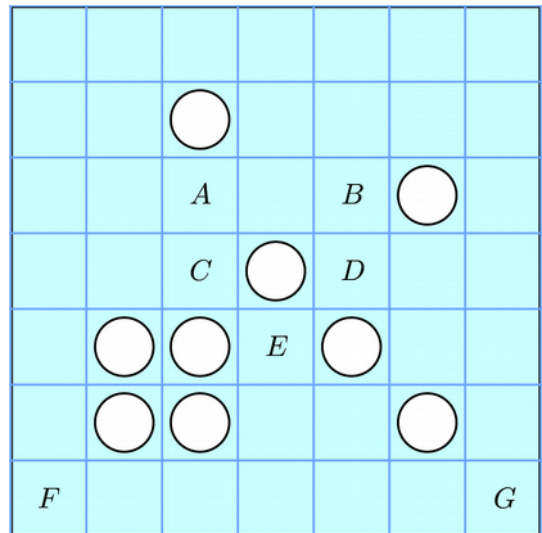


図 1：白い石を手番の 1 個目として A、B、E、F、G に置くことはできません。なぜなら 4 連を 1 列だけ作ってしまうからです。しかし、白い石を D、E という順に置けば、同時に 4 連を 2 列作って勝利します。なお、白い石を C、A の順に置くのは、5 連を作ってしまうので、できないことに注意してください。

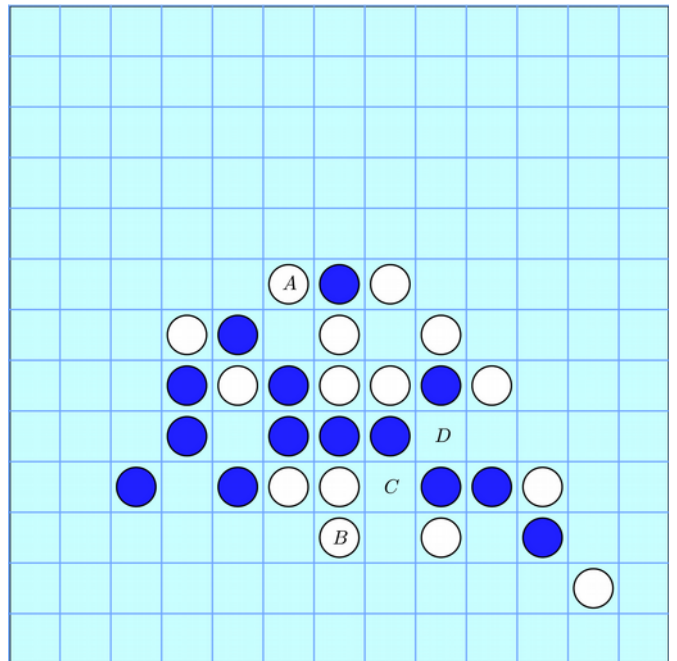


図 2：白のプレイヤーは、A と B に置いて（順不同）このゲームに勝利します。次の手番で C、D の順に置けば同時に 4 連が 2 列にできるのです。青のプレイヤーは、同時に 4 連を 2 列作れず、また C や D に置くと 4 連が 1 列だけできてしまうので、防げません。

「ヤバラックス」は「ヤバラス」と「六目並べ」に触発されて完成したゲームです。